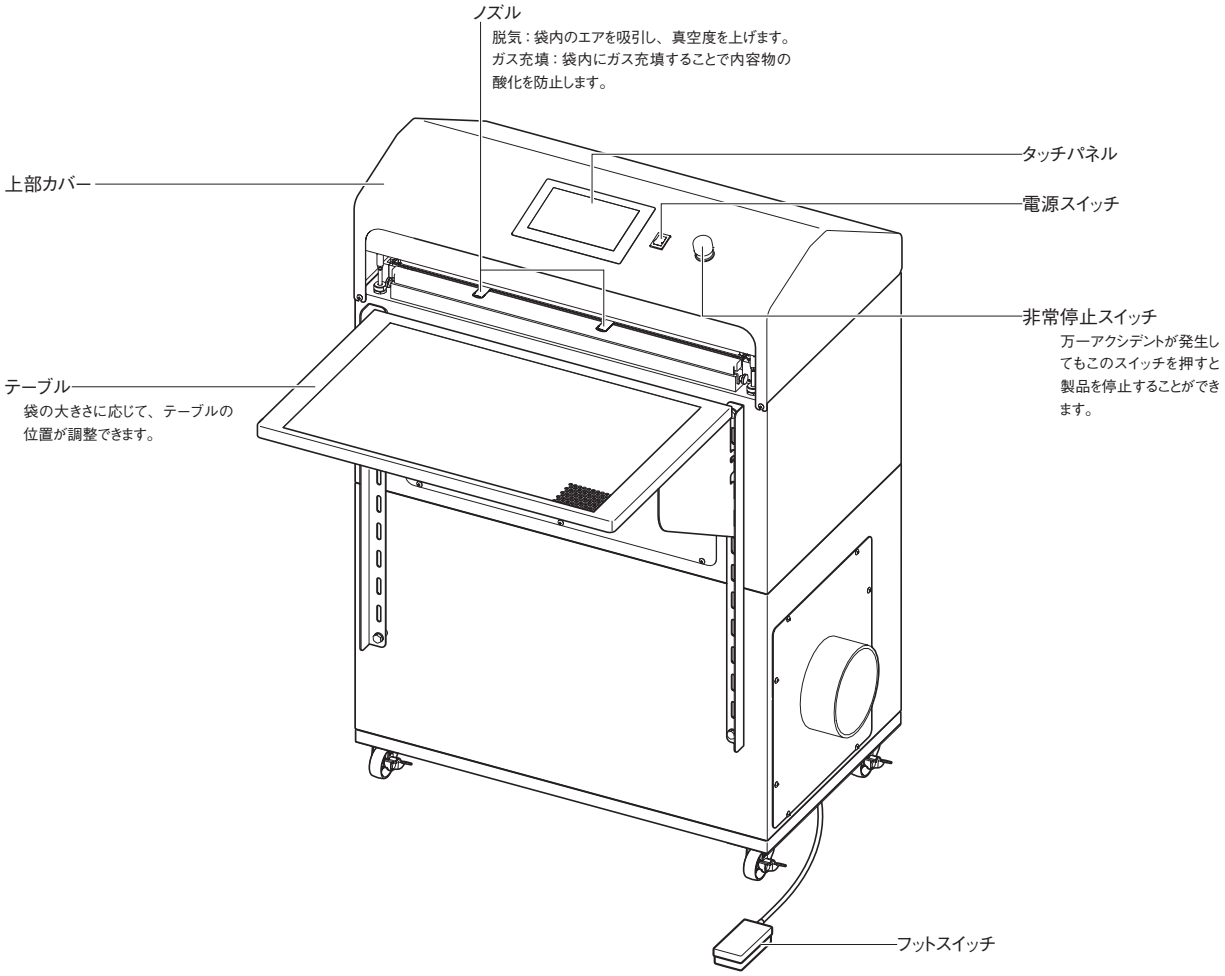
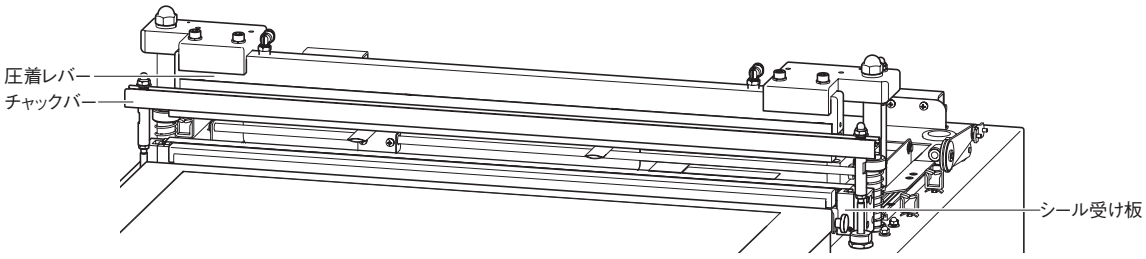
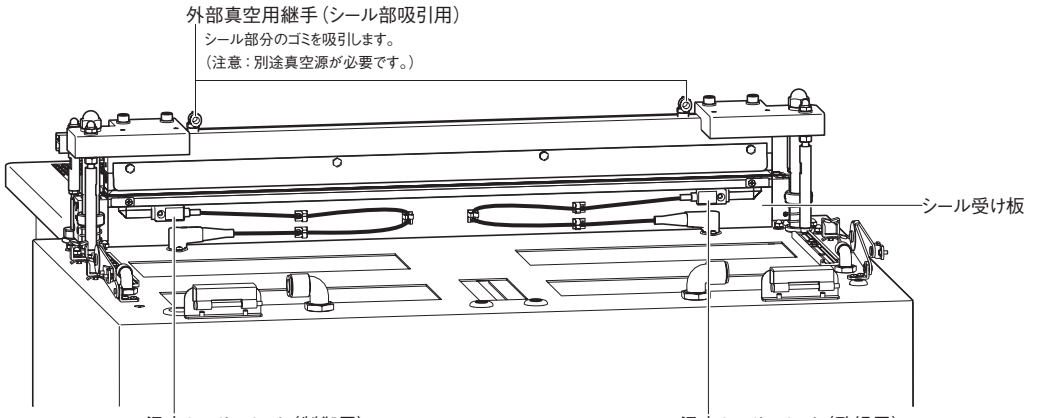
6　各部の名称とはたらき



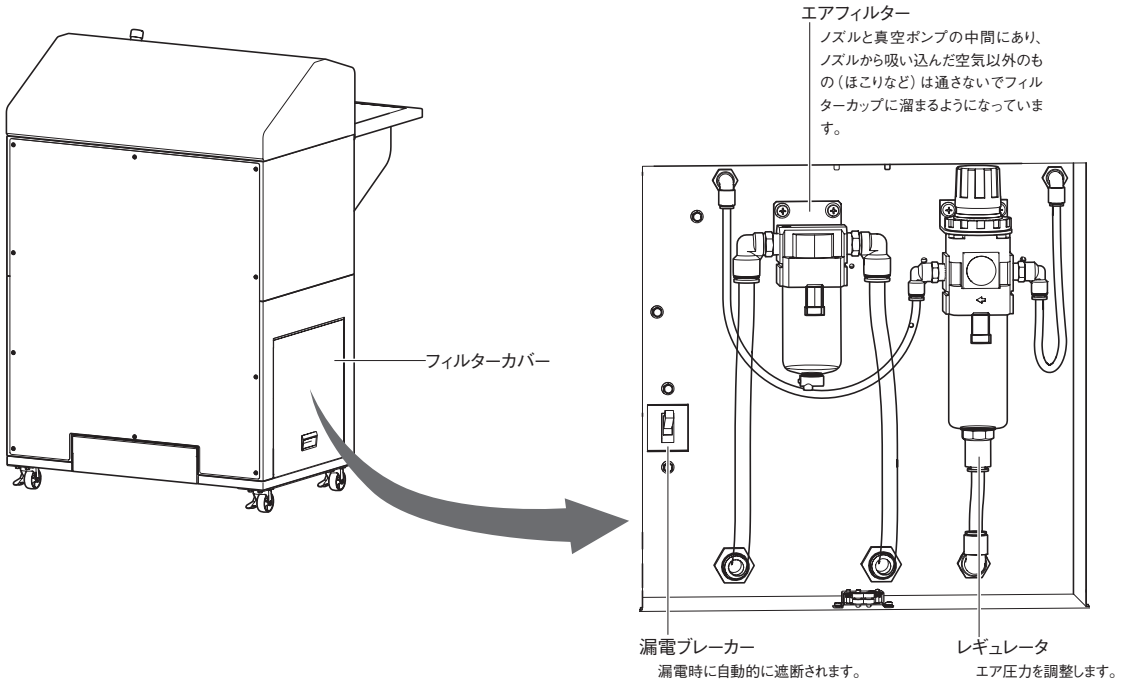
上部カバー内部（正面より）



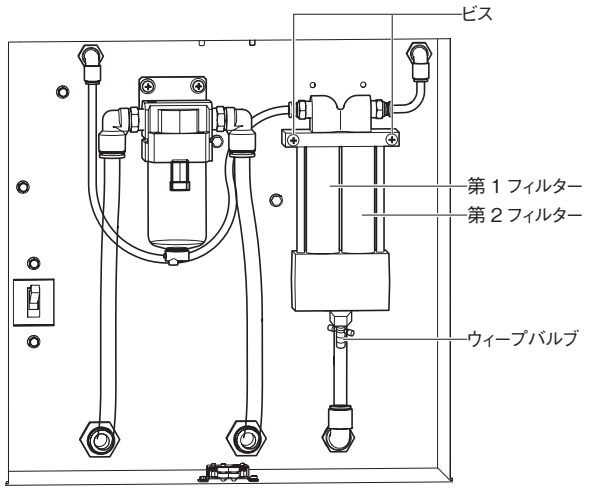
上部カバー内部（背面より）



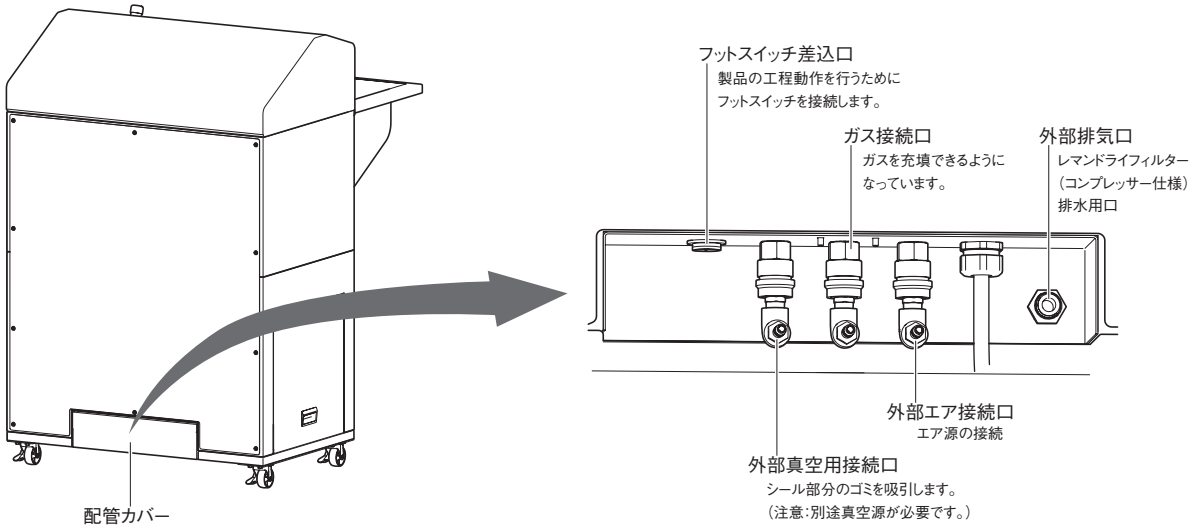
フィルターカバー内部



コンプレッサー仕様
（オプション）



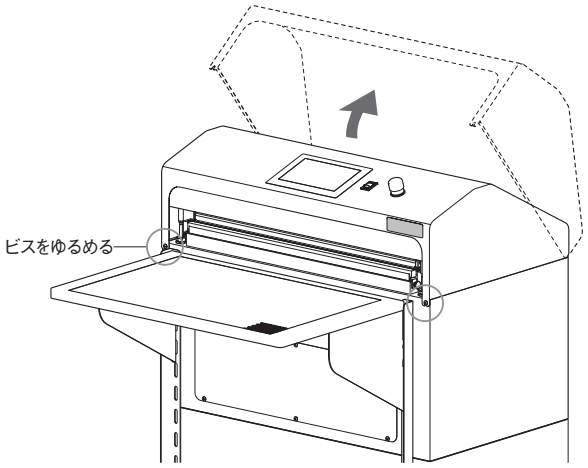
配管カバー内部



上部カバー

ノズルの位置調整をするとき（「7-3　ノズルの位置調整」（→ P.21）参照）や部品を交換するとき、上部カバーを開けて作業をしてください。
上部カバーは、プラスドライバーで左右前面のビスをゆるめるとイラストのように開きます。

⚠ 警告　上部カバーを開けたままで包装（シール）作業は行わないでください。
上部カバーを開けるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。挟み込みや感電の恐れがあります。



7　準備

7-1　クリーンルーム内における排気口の接続

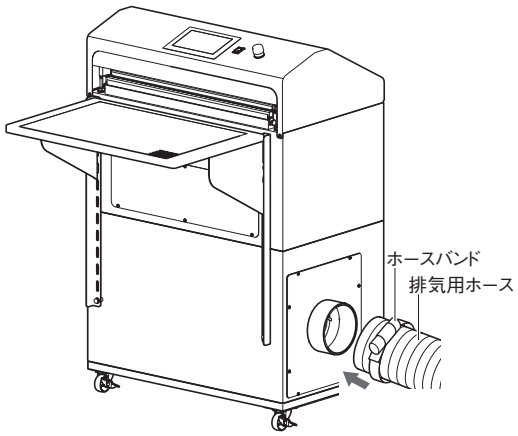
ダクトを使用する場合

製品の右下側のダクトにお客様で用意されている排気用のホースをホースバンドなどで固定して取り付けてください。

もう一方の排気用ホース先端は、クリーンルーム外に排気されるように配置してください。

MEMO　排気用ホースは、ダクトに合う内径 150 mm のものをご用意ください。

ダクトを使用する場合



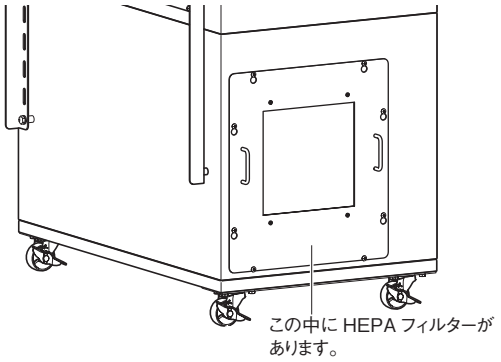
HEPA フィルター（オプション）を使用する場合

排気は HEPA フィルターを通って製品の右側面から排出されます。

プラスドライバーでビスをゆるめるとカバーを取り外すことができます。

HEPAフィルターについては、「11-4　HEPAフィルター（オプション品）の清掃」（→ P.62）に記載しています。

HEPA フィルターを使用する場合

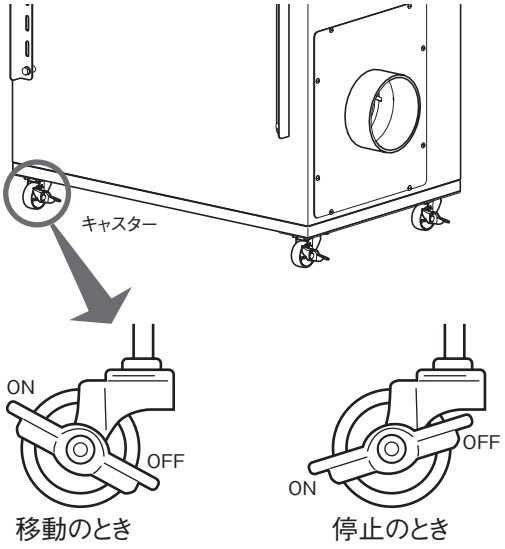


7-2　作業場所の確保

作業場所が決まりましたら、製品下部のキャスター（4個）をしっかりとロック ON にして固定してください。

⚠ 警告　傾いたり、段差のある不安定な場所では使用しないでください。製品が設置場所から移動したり、落下したりして、製品の破損や人体の損傷につながります。必ず安定して設置できる水平な面を持つ場所に作業場所を確保してください。

⚠ 警告　設置面が濡れていたり、水滴・水蒸気のかかる場所では使用しないでください。製品の故障の原因となり、漏電・感電の恐れがあります。

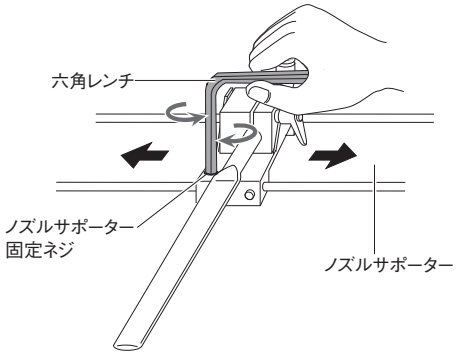


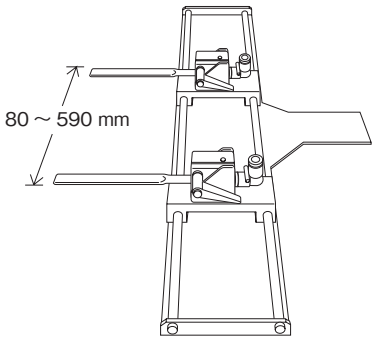
7-3　ノズルの位置調整

袋の幅に応じて 2 本のノズル間隔を作業しやすいように調整することができます。

1　上部カバーを開けます。
（「6　各部の名称とはたらき」>>>「上部カバー」（→ P.18）参照）
2　ノズルサポーター固定ネジを六角レンチでゆるめます。
3　ノズルサポーターをスライドさせ、袋の幅に適した間隔に調整します。
4　ノズルサポーター固定ネジを締めます。
5　ノズル間隔を確認した上で、上部カバーを閉じます。

2 本のノズルの間隔（ノズルの外側同士の距離）は、最大 590 mm/ 最小 80 mm です。





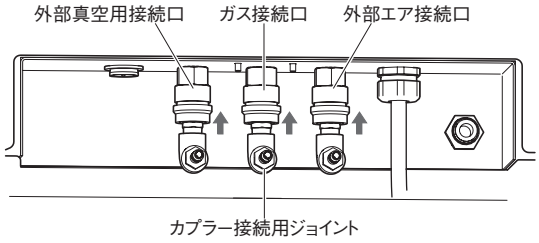
7-4　配管カバー内部の接続

製品背面の配管カバーを開けて、下記の取り付けや接続を行ってください。

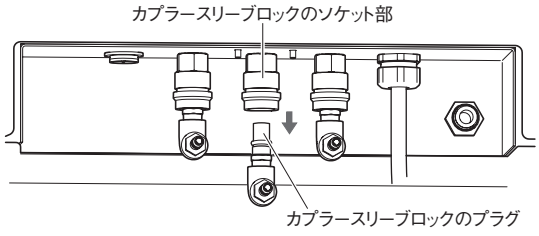
- 外部エア接続口
- 外部真空用接続口
- ガス接続口

製品背面の配管カバーを開けて、カプラー接続用ジョイントを取り外します。（「■ カプラースリーブロック解除・離脱方法」（→ P.22）参照）
タケノコ部分に真空源、ガスボンベ、エア源からのホースをつなぎ、カプラー接続用ジョイントを取り付けます。（「■ カプラースリーブロック接続方法」（→ P.22）参照）

■ カプラー接続用ジョイント取り付け

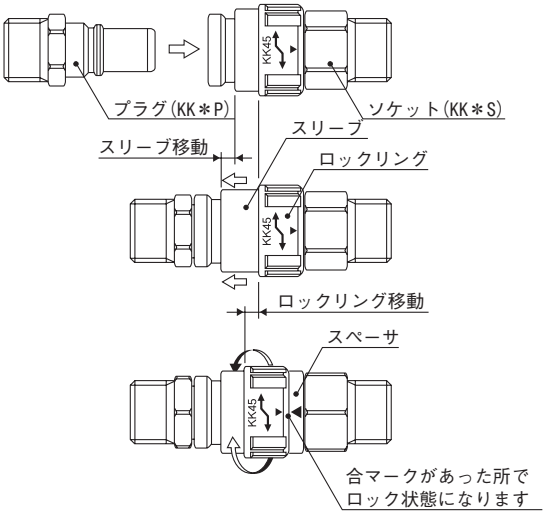


■ カプラー接続用ジョイント取り外し



■ カプラースリーブロック接続方法

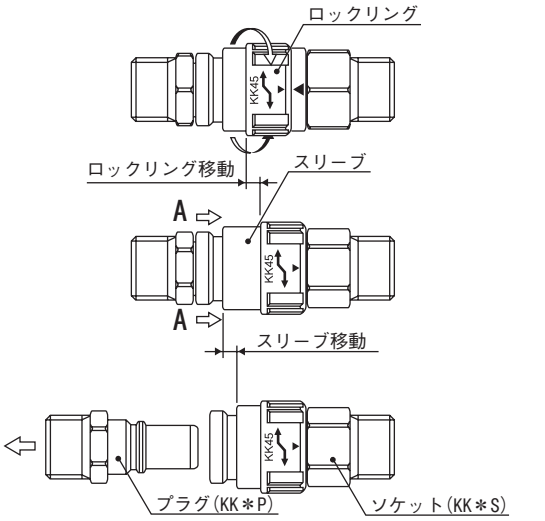
右イラストのプラグをソケットに挿入してください。
スリーブがスライドし、プラグを保持します。
接続後、ロックリングを UNLOCK　LOCK マークの LOCK 方向へ 90°回し、ロックリングとスペーサー部の合マーク（▲印）を合わせてください。スリーブがロックされ不意のプラグの離脱を防ぎます。



■ カプラースリーブロック解除・離脱方法

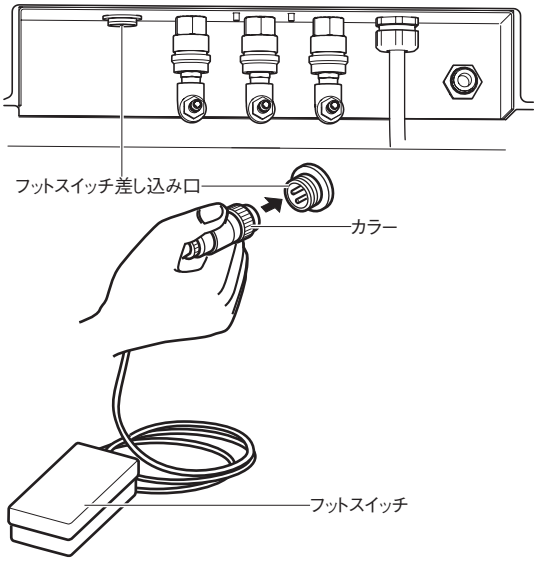
スリーブロックの解除は、ロックリングを UNLOCK　LOCK マークの UNLOCK 方向へ 90°回し、ロックリングが「カチッ」と嵌まり込むところまで回してください。スリーブロックが解除されます。スリーブロック解除後、スリーブの A 面を押してください。プラグがソケットより離脱します。

⚠ 注意　加圧状態にて離脱する際は、プラグが飛び出しますので、プラグを押えて離脱させてください。プラグをソケットより抜くようにしてください。



● フットスイッチ

附属部品のフットスイッチを製品背面にあるフットスイッチ差し込口に差し込み、カラーを回してねじ込み固定してください。



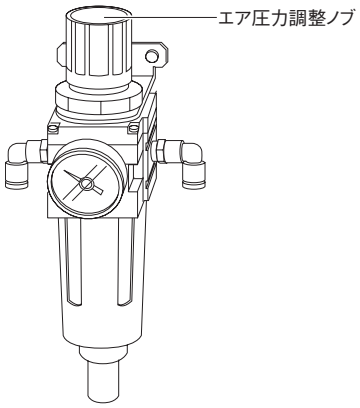
エア源

CR-600 シリーズは製品を駆動させるために別途エアコンプレッサーが必要となります。 適合するコンプレッサーをご使用ください。

適合コンプレッサー

クリーンエア：0.75 kW 、80 L/min 、0.5 MPa 以上

エア圧力は出荷時（0.45 MPa）に調整していますが、シール圧が出ない場合は設定を変更してください。 エア圧力が 0.45 MPa 以下の場合は、エア圧の調整を下記の方法で行ってください。



レギュレータ

エア圧の調整

フィルターカバーを開け、レギュレータのエア圧力調整ノブを引き上げ、時計方向（右回転）に回すと、エア圧が上がります。

設定位置でエア圧力調整ノブを押し、溝に入れてロックしてください。

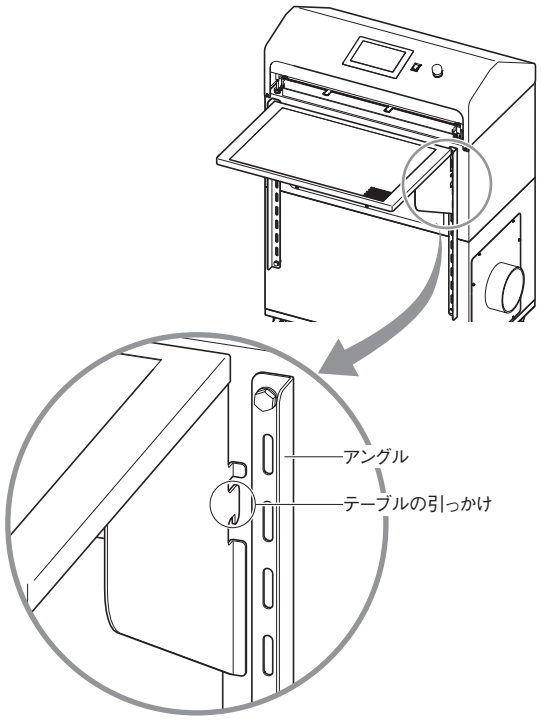
圧力設定値：0.45 MPa

7-5　テーブルの取り付けと高さ調整

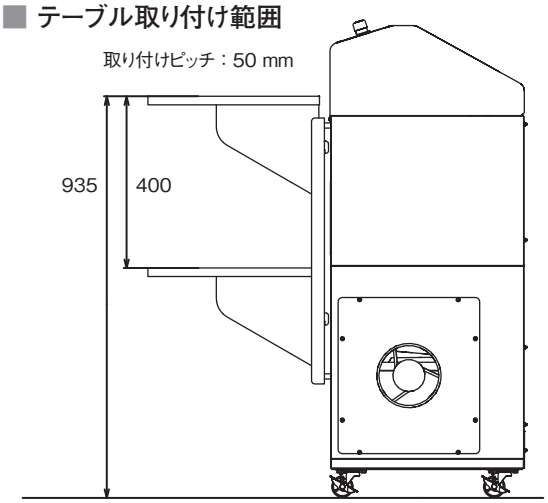
テーブルの引っかけをアングルの穴に差し込んで固定します。アングルの穴に合わせて作業しやすい高さに調整してください。

⚠ 警告　テーブルの引っかけは、必ず確実にアングルの穴へ差し込んでください。確実にセットされていないと、わずかな衝撃やテーブルを持ち上げた際に外れたり、傾いたり、落下してケガをする恐れがあります。

注 ！　テーブルを取り付ける際は、両サイドの高さがずれないように注意して取り付けてください。



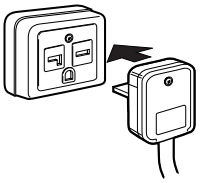
■ テーブル取り付け範囲



7-6　電源の接続

電源は必ず「13　仕様」（→ P.70）に記載している電圧・消費電力に適合した容量のコンセントから直接接続し、電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。

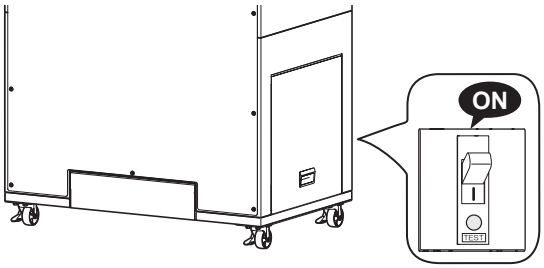
「電気配線工事は電力会社の認定工事店、または D 種接地工事の資格者によって行ってください。」



⚠ 警告　消費電力は製品によって異なります。コンセントの容量が製品の消費電力以上あることを確かめ、直接接続してください。容量の少ないコンセントから電源を取ったり、継ぎ線やタコ足配線をすると電圧降下し、製品が正常に動作しないだけでなく、電線やコンセントが発熱して火災の原因にもなります。適切な容量の電源工事を行ってください。

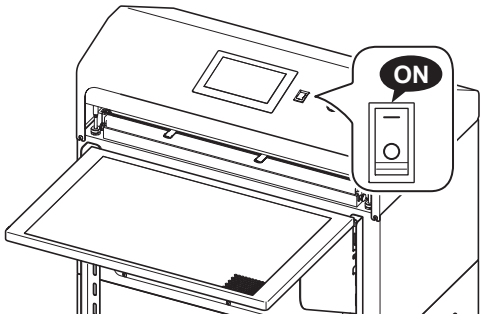
7-7　漏電ブレーカーを ON

フィルターカバーを開けて、漏電ブレーカーを ON にしてください。



7-8　電源スイッチを ON

電源スイッチを ON にしてください。



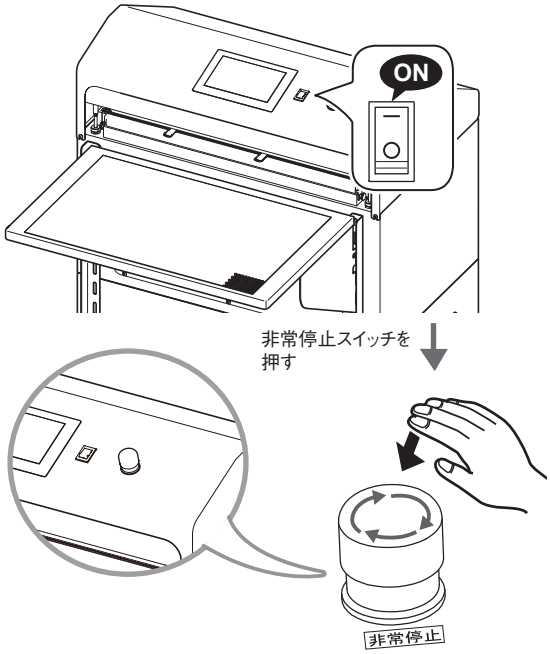
7-9　非常停止スイッチおよび漏電ブレーカーの作動確認

7-9-1　非常停止スイッチの確認

万一のトラブルに備えて、非常停止スイッチを押して作動確認をしてください。
以下の通りに作動すれば、非常停止スイッチは正常に機能しています。

1　電源スイッチを ON にして、タッチパネルを点灯させる。
2　非常停止スイッチを押す。
3　タッチパネルが消灯する。

非常停止スイッチを押すと、ボタンスイッチにロックがかかる構造になっています。ロックを解除する場合は、非常停止スイッチの上部を右方向に回転させると解除することができます。解除するとタッチパネルが再点灯します。

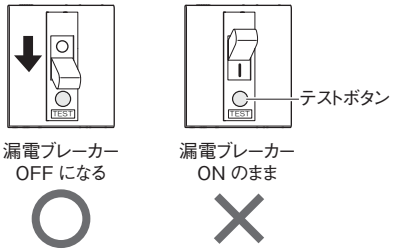


7-9-2　漏電ブレーカーの確認

万一のトラブルに備えて、漏電ブレーカーの作動確認をしてください。点検は月に 1 回程度行ってください。
以下の通りに作動すれば、漏電ブレーカーは正常に機能しています。

1　漏電ブレーカーに付いているテストボタン（右イラスト参照）を押す。
2　漏電ブレーカーが「OFF（○）」になる。

⚠ 注意　漏電ブレーカーが「ON（I）」のままの場合、漏電ブレーカーの故障が考えられますので、お買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。



8　正しい使い方

製品を使用されるときは以下の『正しい使い方』をよくお読みいただき、お使いください。
以下の方法以外の操作方法で使用されますと故障の原因となり、たいへん危険です。

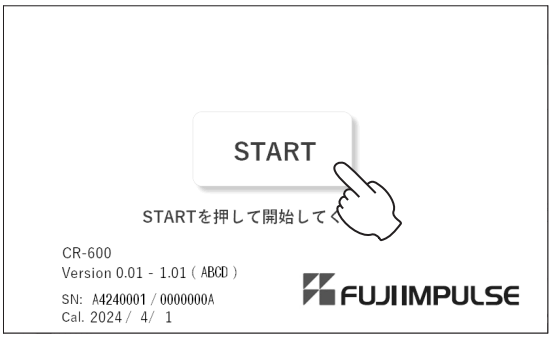
⚠ 注意　フットスイッチを踏むと、チャックバー（「6　各部の名称とはたらき」（→ P.16）参照）が下がり、もう一度フットスイッチを踏むと圧着レバーが閉じます。（電源が ON 状態の場合）
特に、袋をセットするときなど、指を挟み込まないように、充分に安全を確認した上で作業を行ってください。

⚠ 注意　シール中は、ヒーター、電極が熱くなっていますので、手などを触れますと、火傷をする恐れがありますので触れないようにしてください。

8-1　起動する

漏電ブレーカーを ON にした後、電源スイッチを ON にするとタッチパネルに起動画面が表示されます。
「START」ボタンを押して、メイン画面を表示します。
「START」ボタンは電源スイッチを ON にしてから数秒経過後に表示されます。

注 ！　使用開始時（初回起動時）は、「9-3-1　日付と時刻の設定」（→ P.38）を参照して、時計の日時が現在時刻と合っているか確認をしてください。合っていない場合は合わせてください。



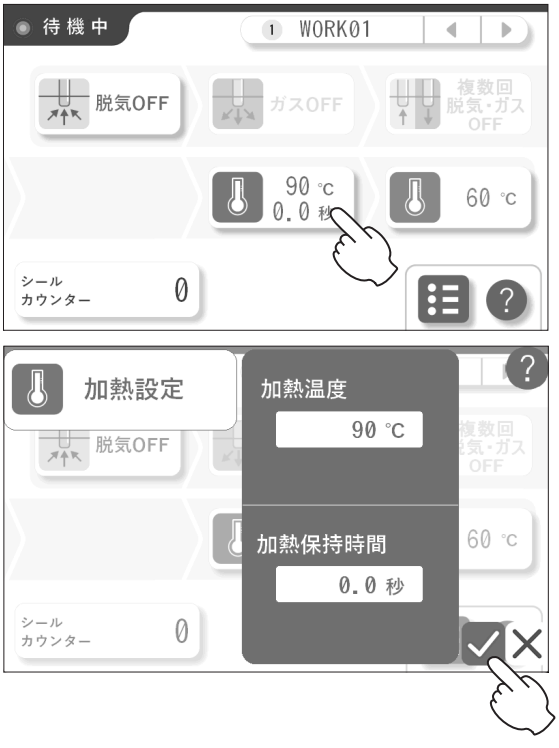
8-2　作業内容の設定

メイン画面で作業内容を設定します。
作業内容はNo. 01 ～ 10 の 10 個登録することができ、電源を OFF にした後も設定内容は保持します。
作業No.を変更する場合は、作業No.変更ボタンで作業画面を切り替えてください。



8-2-1　加熱設定

加熱の設定値を押すと、設定画面が表示されます。
「8-2-1-1　加熱温度の設定」（→ P.27）
「8-2-1-2　加熱保持時間の設定」（→ P.27）
を行い、最後に「✓」ボタンを押してください。



8-2-1-1　加熱温度の設定

加熱温度の設定値を押すと、入力用テンキーが表示されます。加熱温度を入力して、「ENT」ボタンを押してください。

設定範囲：90 ～ 200［℃］

注 ！　設定温度を極端に高く設定すると、フイルムが溶けすぎて美しく丈夫なシールができません。また、消耗部品の劣化を早めてしまいますので、フィルムに合った温度設定にしてください。



8-2-1-2　加熱保持時間の設定

加熱保持時間の設定値を押すと、入力用テンキーが表示されます。加熱保持時間を入力して、「ENT」ボタンを押してください。

設定範囲：0.0 ～ 5.0［秒］

MEMO　温度制御における加熱時間とは設定した加熱温度を維持させる時間のことです。通常は、加熱時間を設定しなくても（加熱時間を 0.0 秒にしても）シールはできます。包装フィルム（袋）に厚みがあり、加熱温度を上げてもシールができない場合やシールができてもフィルムがダメージを受けている場合のみ加熱時間を設定する効果が期待できます。

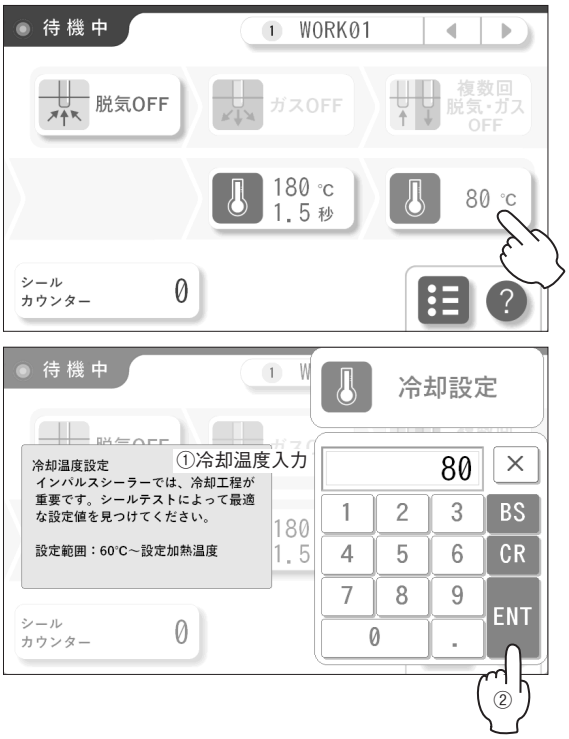


8-2-2　冷却温度の設定

冷却温度の設定値を押すと、入力用テンキーが表示されます。冷却温度を入力して、「ENT」ボタンを押してください。

設定範囲：60 ～加熱温度設定値［℃］

注 ！ 設定温度を極端に高く設定すると、美しく丈夫なシールができませんのでフィルムに合った温度設定にしてください。

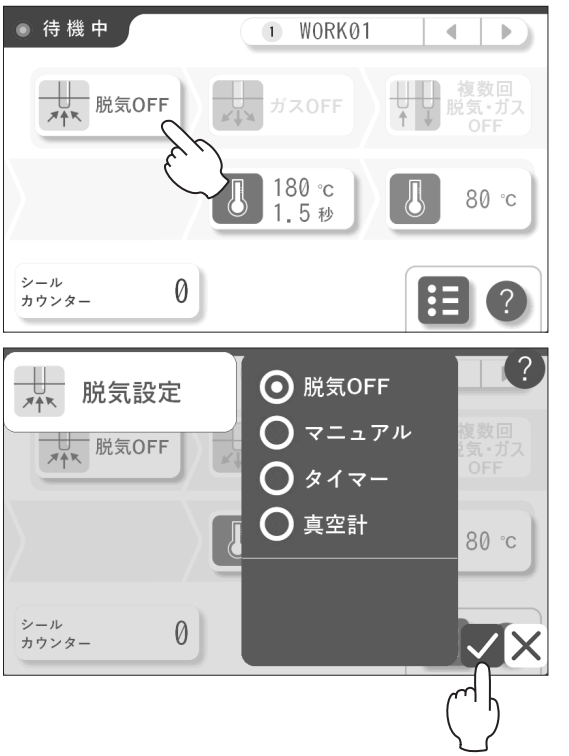


8-2-3　脱気方式の設定

脱気 OFF を押すと、脱気方式の選択画面が表示されます。

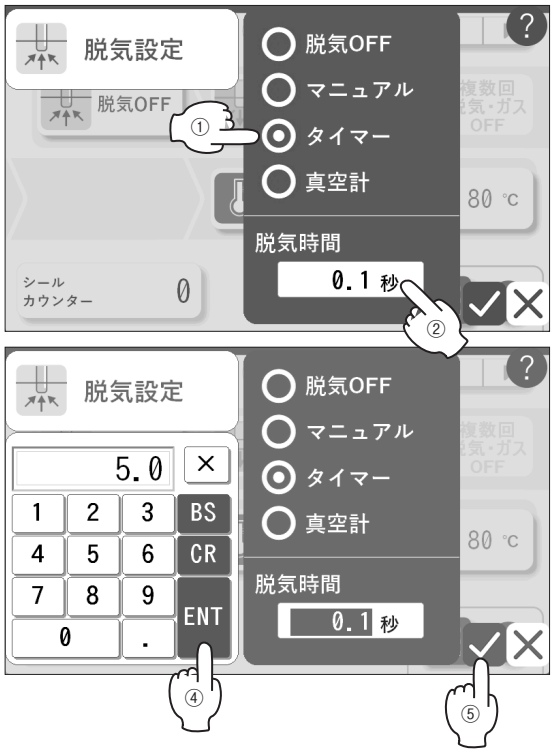
脱気方式を選択し、最後に「✓」ボタンを押してください。

マニュアル	脱気開始後、フットスイッチを踏むと脱気が終了します。
タイマー	脱気開始後、設定した時間が経過すると自動で脱気が終了します。
真空計	脱気開始後、設定した真空度に到達すると自動で脱気が終了します。



8-2-3-1　タイマー脱気の設定

「8-2-3　脱気方式の設定」（→ P.28）でタイマーを選択すると、脱気時間の設定が表示されます。
脱気時間の設定値を押すと、入力用テンキーが表示されます。 脱気時間を入力して、「ENT」ボタンを押し、最後に「✓」ボタンを押してください。
設定範囲：0.1 ～ 99.9［秒］

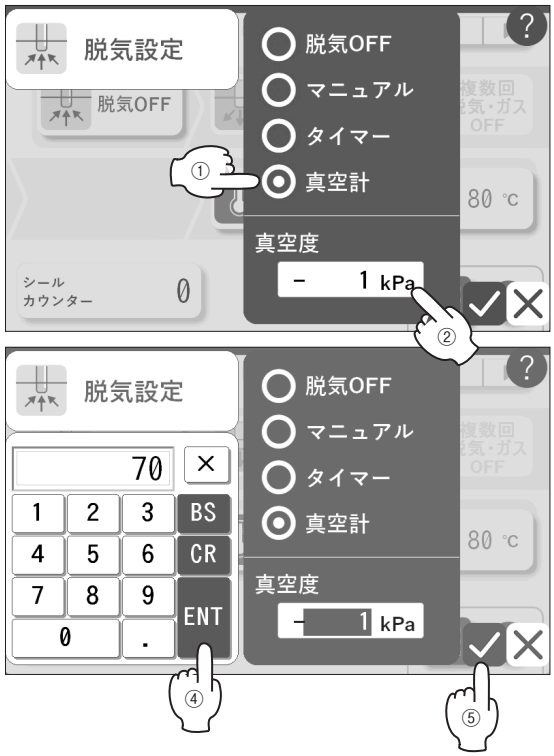


8-2-3-2　真空計脱気の設定

「8-2-3　脱気方式の設定」（→ P.28）で真空計を選択すると、真空度の設定が表示されます。
真空度の設定値を押すと、入力用テンキーが表示されます。 真空度を入力して、「ENT」ボタンを押し、最後に「✓」ボタンを押してください。
入力する値はーを省いた数値になります。
設定範囲：−1 ～ −100［kPa］

注 ！　搭載している真空ポンプや作業方法、内容物によって最大真空度は異なります。脱気真空度を設定する際は、下の数値を目安として、実際に作業を行いながら調整してください。

■最大真空度の目安
−70 kPa



8-2-4　1 回ガス充填の設定

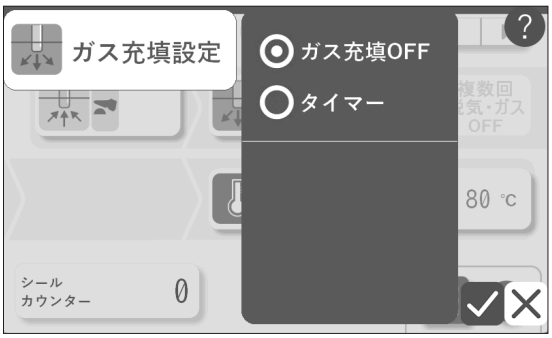
ガス充填の設定は脱気設定が有効なときに設定できます。

ガス OFF を押すと、ガス充填方式の選択画面が表示されます。

ガス充填方式を選択し、最後に「✓」ボタンを押してください。

タイマー	ガス充填開始後、設定した時間が経過すると自動でガス充填が終了します。



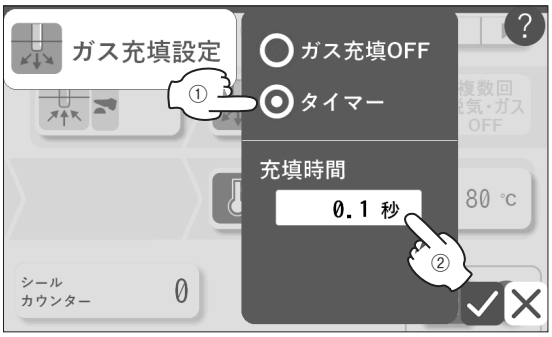


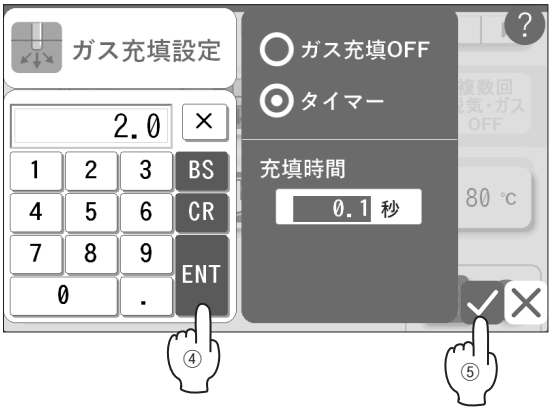
8-2-4-1　タイマーガス充填の設定

「8-2-4　1 回ガス充填の設定」（→ P.30）でタイマーを選択します。

充填時間の設定値を押すと、入力用テンキーが表示されます。ガス充填時間を入力して、「ENT」ボタンを押し、最後に「✓」ボタンを押してください。

設定範囲：0.1 ～ 99.9［秒］





③ガス充填時間入力

8-2-5　複数回脱気・ガス充填の設定

CR シリーズは、最多 99 回の繰り返し脱気・ガス充填設定ができます。
脱気方式でタイマー・真空計、ガス充填方式でタイマーを選択した場合は「1 回」から「設定した回数マイナス 1 回」までの設定値が同じになります。 最終 1 回の設定値は異なる設定値に設定することができます。
例）回数を 5 回に設定した場合
1 ～ 4 回目の脱気・ガス充填は同じ設定値、
5 回目は異なる設定値に設定することができます。

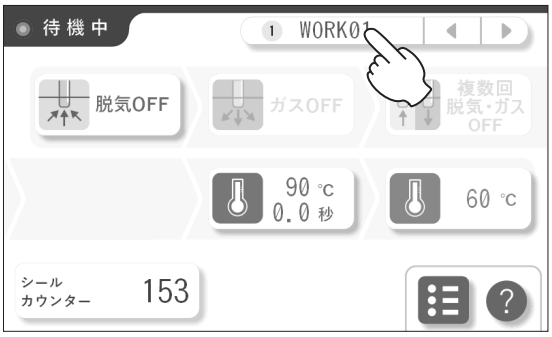


複数回脱気・ガス充填の設定は脱気設定、ガス充填設定が有効なときに設定できます。
複数回脱気・ガス OFF を押すと、設定画面が表示されます。
①回数
回数の設定値を押すと、入力用テンキーが表示されます。 設定したい回数を入力して、「ENT」ボタンを押してください。
設定範囲：2 ～ 99［回］
②脱気設定
「8-2-3　脱気方式の設定」（→ P.28）で設定した内容が適用されます。 変更したい場合は、脱気設定を押すと変更することができます。
③ガス設定
「8-2-4　1 回ガス充填の設定」（→ P.30）で設定した内容が適用されます。 変更したい場合は、ガス設定を押すと変更することができます。
④最終 1 回脱気 / ガス設定
脱気 / ガス設定の設定値を押すと、入力用テンキーが表示されます。 脱気 / ガス充填の設定値を入力して、「ENT」ボタンを押してください。
■最終 1 回脱気設定
　設定範囲：通常の設定範囲と同じ
■最終 1 回ガス設定
　設定範囲：0 ～ 99.9［秒］

全ての項目が設定できたら、最後に「✓」ボタンを押してください。

8-2-6　作業名の登録

作業№の横に表示されている作業名を変更することができます。
作業名を押すと、入力用キーボードが表示されます。作業名を入力し、「ENT」ボタンを押してください。
作業名は、英数字と記号を最大 8 文字まで登録できます。



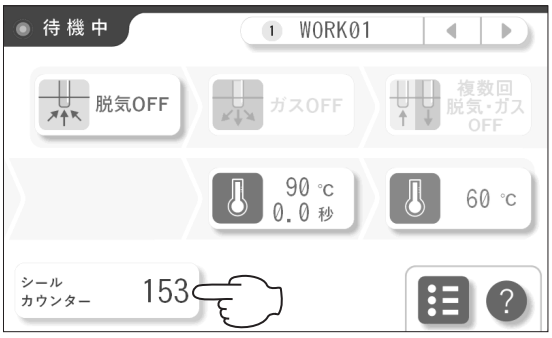
■ 文字キーボードの切り替え

キーボードは表示されたときは大文字のローマ字のみ表示されています。
「MODE」キーを押すと、小文字、数字、記号を切り替えることができます。



8-2-7　シールカウンターの調整

シールカウンターをリセット、または 1 ずつ減らすことができます。
シールカウンターを押すと、調整画面が表示されます。
「リセットする」を押すと、表示されているカウンターが 0 になります。
「1 カウント減らす」を押すと、カウンター値が 1 カウント減少します。
最後に「✓」ボタンを押すと、カウンター調整が確定されます。カウンター調整をキャンセルしたい場合は「×」ボタンを押してください。





8-3　作業手順

8-3-1　《シール専用》作業手順

	手順	操作方法
1	シール面に袋をセット	シール位置を確かめながら、袋の両端を整えてください。
2	フットスイッチ（1 回目）を踏む	チャックバーが閉じます。 注 ！ チャックバーの下降途中で足をフットスイッチから離すと安全機構が働いて、チャックバーが開きます。
3	フットスイッチ（2 回目）を踏む	2 回目のフットスイッチを踏む操作をすると 1 ～ 5 の工程が自動的に行われます。 1　圧着レバーがシール面に密着（シール開始） 2　加熱開始 3　加熱終了後、冷却開始 4　冷却終了 5　圧着レバーとチャックバーが上がります（シール終了）
4	シール完了	長時間作業を行わないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

8-3-2　《マニュアル（目安）脱気 + シール》作業手順

	手順	操作方法
1	フットスイッチ（1 回目）を踏む	ノズルが前進します。
2	シール面に袋をセット	内容物が入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら、袋の両端を整えてください。
3	フットスイッチ（2 回目）を踏む	チャックバーが閉じます。 注 ！ チャックバーの下降途中で足をフットスイッチから離すと安全機構が働いて、チャックバーが開きます。
4	フットスイッチ（3 回目）を踏む	圧着レバー中段位置まで下降し、脱気が開始されます。
5	適切な脱気状態（目測判断）になれば フットスイッチ（4 回目）を踏む	4 回目のフットスイッチを踏む操作をすると 1 ～ 6 の工程が自動的に行われます。 1　脱気終了 2　ノズル後退 3　圧着レバーがシール面に密着（シール開始） 4　加熱終了後、冷却開始 5　冷却終了 6　圧着レバーとチャックバーが上がります（シール終了）
6	シール完了	ノズル自動前進設定が ON の場合、ノズルが前進します。 長時間作業を行わないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

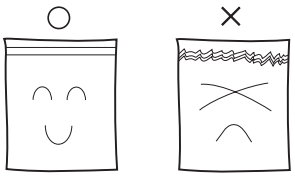
8-3-3 《1 回タイマー脱気 + ガス充填 + シール》作業手順

	手順	操作方法
1	フットスイッチ（1 回目）を踏む	ノズルが前進します。
2	シール面に袋をセット	内容物が入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら、袋の両端を整えてください。
3	フットスイッチ（2 回目）を踏む	チャックバーが閉じます。 注 ！ チャックバーの下降途中で足をフットスイッチから離すと安全機構が働いて、チャックバーが開きます。
4	フットスイッチ（3 回目）を踏む	3 回目のフットスイッチを踏む操作をすると 1 ～ 9 の工程が自動的に行われます。 1　圧着レバーが中段位置に下降し、脱気開始 2　脱気設定で設定した時間が経過すると脱気終了 3　ガス充填開始 4　ガス設定で設定した時間が経過するとガス充填終了 5　ノズル後退 6　圧着レバーがシール面に密着（シール開始） 7　加熱終了後、冷却開始 8　冷却終了 9　圧着レバーとチャックバーが上がります（シール終了）
5	シール完了	ノズル自動前進設定が ON の場合、ノズルが前進します。 長時間作業を行わないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

8-3-4 《2 回タイマー脱気 + ガス充填 + シール》作業手順

	手順	操作方法
1	フットスイッチ（1 回目）を踏む	ノズルが前進します。
2	シール面に袋をセット	内容物が入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら、袋の両端を整えてください。
3	フットスイッチ（2 回目）を踏む	チャックバーが閉じます。 注 ！ チャックバーの下降途中で足をフットスイッチから離すと安全機構が働いて、チャックバーが開きます。
4	フットスイッチ（3 回目）を踏む	3 回目のフットスイッチを踏む操作をすると 1 ～ 13 の工程が自動的に行われます。 1　圧着レバーが中段位置に下降し、1 回目脱気開始 2　脱気設定で設定した時間が経過すると 1 回目脱気終了 3　1 回目ガス充填開始 4　ガス設定で設定した時間が経過すると 1 回目ガス充填終了 5　2 回目脱気開始 6　脱気設定で設定した時間が経過すると 2 回目脱気終了 7　2 回目ガス充填開始 8　ガス充填で設定した時間が経過すると 2 回目ガス充填終了 9　ノズル後退 10　圧着レバーがシール面に密着（シール開始） 11　加熱終了後、冷却開始 12　冷却終了 13　圧着レバーとチャックバーが上がります（シール終了）
5	シール完了	ノズル自動前進設定が ON の場合、ノズルが前進します。 長時間作業を行わないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

8-4　シールのできあがり



うまくシールができていない場合は、加熱・冷却の設定を調整してください。

■ シールが剥がれる場合

加熱温度や加熱保持時間を上げてください。
（「8-2-1　加熱設定」（→ P.26）参照）

■ シール部分が溶ける場合

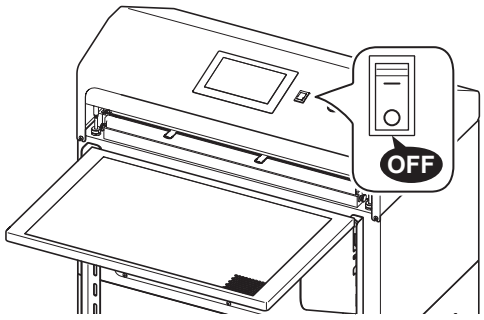
加熱温度や加熱保持時間、冷却温度を下げてください。
（「8-2-1　加熱設定」（→ P.26）、「8-2-2　冷却温度の設定」（→ P.28）参照）

注 ！ 異なる包材、内容物における最適なシール状態をお客さまの責任において確認してください。ガゼット袋の場合、厚みが場所によって異なりますので密封されているかどうか、必ず確認してください。
【例：水中で袋を押し、気泡が出ないか確かめるなど】

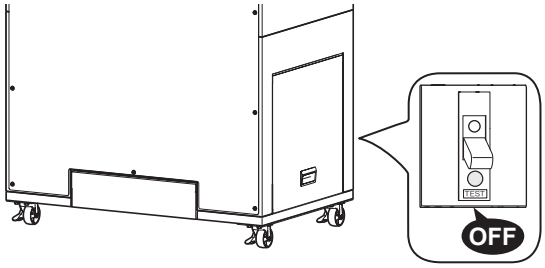
附属部品の中にシールサンプル（当製品でシールを行ったPEフィルム）を入れておりますので、参考にご利用ください。（「1　梱包内容」（→ P.6）参照）

8-5　終了するとき

1　電源スイッチを OFF にします。



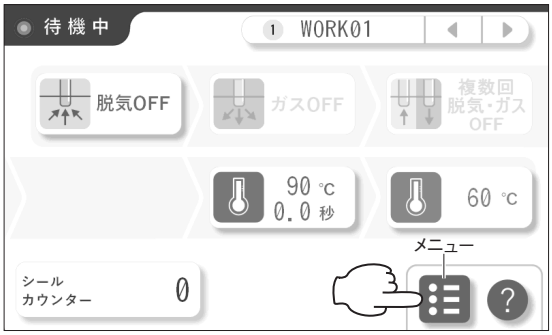
2　フィルターカバーを開けて、漏電ブレーカーを OFF にします。



9　メニューの操作方法

9-1　メニュー内容と各種設定

「メニュー」ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。



各設定メニューを押してください。



9-2　機能設定

9-2-1　ヒーター断線検出設定

ヒーター断線検出の ON/OFF を設定することができます。
通常は ON のまま使用してください。OFF にすると断線検出ができなくなります。断線を検出する回路の故障による断線エラーが発生した場合のみ OFF にすることで、シール作業を続けることができます。



9-2-2　ノズル自動前進設定

ノズル自動前進とは、作業方法を「脱気作業」に設定している場合、作業工程終了後に、ノズルが自動で前進する機能です。工場出荷時の設定は、ON となっています。作業工程終了後のノズル自動前進により、シールした包材などにノズルが当たってしまう場合は、本設定を OFF にしてください。

■ **ノズル自動前進が ON の場合**

作業工程終了後、ノズルが自動で前進します。

■ **ノズル自動前進が OFF の場合**

作業工程終了後、ノズルは自動で前進しません。
次の作業を開始するとき、フットスイッチを踏むとノズルが前進しますので、作業を進めてください。

9-3　システム設定

9-3-1　日付と時刻の設定

時計表示を押すと設定画面が表示されます。
現在時刻を入力して「✓」ボタンを押すと確定されます。

MEMO　日付と時刻の設定はエラー履歴と消耗部品交換日の記録に使用します。





9-3-2　タッチパネルの明るさ調整

タッチパネルの明るさを調整することができます。
バックライトの項目のスライダーを左右にスライドして明るさを調整してください。



9-3-3　タッチ音の ON/OFF 設定

タッチパネルのタッチ音の ON/OFF を設定することができます。
タッチ音を OFF にした場合でも、エラー発生時にはブザー音が鳴ります。



9-4　エラー一覧

9-4-1　エラー一覧

エラー一覧を選択し、エラー番号を選択すると、エラー内容、主な原因を確認することができます。

9-4-2　エラー履歴

エラー履歴を確認することができます。

9-4-3　エラー履歴全消去

エラー履歴を消去することができます。



9-5　トラブルシューティング

お困りの内容を選択すると、対応方法を確認することができます。



9-6　使用方法

各項目を選択すると、使用方法を確認することができます。



9-7　お問い合わせ

お問い合わせ先を確認することができます。



■ 連絡先

「連絡先」を押すと、お問い合わせ先を登録することができます。

お問い合わせ先または電話番号を押すと、入力用キーボードが表示されます。入力ができたら「ENT」ボタンを押してください。

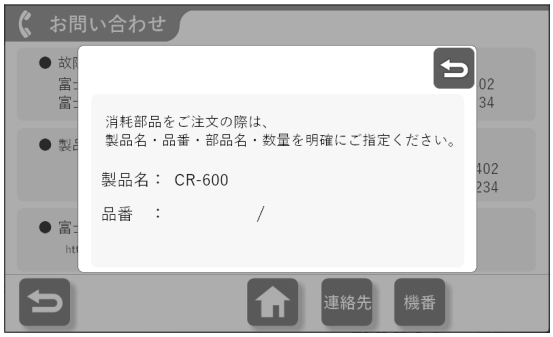
お問い合わせ先は英数字と記号を最大 30 文字まで、電話番号は 11 桁まで登録できます。



■ 機番

「機番」を押すと、製品名、品番を確認することができます。お問い合わせの際や、消耗部品をご注文の際にお役立てください。

また、製品に貼付の機番ラベルでもご確認いただけます。（「2　警告・注意ラベルの貼り付け位置と内容説明」（→ P.7）参照）



9-8　目安モード

目安モードは、マニュアル操作で行った脱気・ガスの動作時間または真空度を計測します。計測値は、目安値として確認することができ、そのまま作業条件に設定することができます。



計測したい内容に適した動作内容のモードを選択してください。

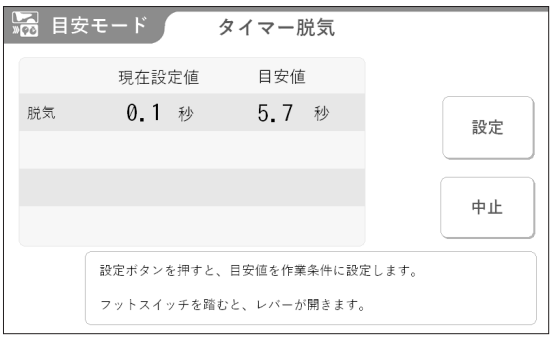
モード		動作内容
脱気モード	タイマー	脱気を行い、脱気時間を計測します。
	真空計	脱気を行い、脱気終了時の真空度を計測します。
ガスモード	タイマー	ガス充填を行い、ガス充填時間を計測します。
1 回ガスモード	タイマー脱気	脱気+ガス充填を行い、脱気時間とガス充填時間を計測します。
	真空計脱気	脱気+ガス充填を行い、脱気終了時の真空度とガス充填時間を計測します。
2 回ガスモード	タイマー脱気	[脱気+ガス充填] を 2 回行い、脱気時間とガス充填時間を計測します。
	真空計脱気	[脱気+ガス充填] を 2 回行い、脱気終了時の真空度とガス充填時間を計測します。

注：メイン画面で設定されている脱気方式、ガス充填方式に対応したモードが目安モードメニューに表示されます。
　　目安モードメニューでは、脱気・ガス充填動作のみ行い、加熱・冷却工程は行いません。
　　目安モードで計測した目安値は、作業条件に設定する前に変更することはできません。

■目安モードの操作手順は下に記載しているページをご覧ください。

「9-8-1　脱気モード [タイマー] の操作手順」（→ P.41）
「9-8-2　1 回ガスモード [タイマー脱気] の操作手順」（→ P.42）
「9-8-3　2 回ガスモード [タイマー脱気] の操作手順」（→ P.43）

9-8-1　脱気モード［タイマー］の操作手順



	手順	操作方法
1	脱気モード［タイマー］を選択	タイマー脱気モード画面が表示され、ノズルが前に出てきます。
2	シール面に袋をセット	シール位置を確かめながら、袋の両端を整えてください。
3	フットスイッチ（1 回目）を踏む	チャックバーが下降し、袋をスポンジで挟み込み密封します。（チャックバーが閉じるまで踏み続けてください。） 注 ！　チャックバーの下降途中で足をフットスイッチから離すと安全機構が働いて、チャックバーが開きます。
4	フットスイッチ（2 回目）を踏む	圧着レバーが下降し、脱気が開始され、脱気時間の計測を開始します。
5	適切な脱気状態（目測判断）になれば フットスイッチ（3 回目）を踏む	ノズルが後退して、脱気が終了します。 脱気時間の計測が停止し、目安値に計測時間が表示されます。
6	設定ボタンを押す	目安値がメイン画面の作業条件に設定されます。 設定しない場合は、設定ボタンを押さずに次の手順に進んでください。
7	フットスイッチ（4 回目）を踏む	圧着レバーが上がり、ノズルが前に出てきます。 再度、脱気時間を計測する場合は手順２～７を行ってください。

注：設定ボタンは、手順５で表示されます。

9-8-2　1 回ガスモード［タイマー脱気］の操作手順



	手順	操作方法
1	1 回ガスモード［タイマー脱気］を選択	1 回ガスタイマー脱気モード画面が表示され、ノズルが前に出てきます。
2	シール面に袋をセット	シール位置を確かめながら、袋の両端を整えてください。
3	フットスイッチ（1 回目）を踏む	チャックバーが下降し、袋をスポンジで挟み込み密封します。（チャックバーが閉じるまで踏み続けてください。） 注 ！　チャックバーの下降途中で足をフットスイッチから離すと安全機構が働いて、チャックバーが開きます。
4	フットスイッチ（2 回目）を踏む	圧着レバーが下降し、脱気が開始され、脱気時間の計測を開始します。
5	適切な脱気状態（目測判断）になれば フットスイッチ（3 回目）を踏む	3 回目のフットスイッチを踏むと 1 ～ 3 の工程が自動的に行われます。 1　脱気終了。 2　脱気計測時間が目安値に表示される。 3　ガス充填開始。ガス充填時間の計測開始。
6	適切なガス充填状態（目測判断）になれば フットスイッチ（4 回目）を踏む	ノズルが後退して、ガス充填が終了します。 ガス充填時間の計測が停止し、目安値に計測時間が表示されます。
7	設定ボタンを押す	目安値がメイン画面の作業条件に設定されます。 「設定」ボタンは、脱気時間、ガス充填時間をそれぞれ設定します。「一括設定」ボタンは脱気時間、ガス時間を一括で設定します。 設定しない場合は、設定ボタンを押さずに次の手順に進んでください。
8	フットスイッチ（5 回目）を踏む	圧着レバーが上がり、ノズルが前に出てきます。 再度、目安時間を計測する場合は手順 2 ～ 8 を行ってください。

注：設定ボタンは、手順 6 で表示されます。

9-8-3　2 回ガスモード［タイマー脱気］の操作手順



	手順	操作方法
1	2 回ガスモード［タイマー脱気］を選択	2 回ガスタイマー脱気モード画面が表示され、ノズルが前に出てきます。
2	シール面に袋をセット	シール位置を確かめながら、袋の両端を整えてください。
3	フットスイッチ（1 回目）を踏む	チャックバーが下降し、袋をスポンジで挟み込み密封します。（チャックバーが閉じるまで踏み続けてください。） 注 ！　チャックバーの下降途中で足をフットスイッチから離すと安全機構が働いて、チャックバーが開きます。
4	フットスイッチ（2 回目）を踏む	圧着レバーが下降し、1 回目脱気が開始され、脱気時間の計測を開始します。
5	適切な脱気状態（目測判断）になれば フットスイッチ（3 回目）を踏む	3 回目のフットスイッチを踏むと 1 ～ 3 の工程が自動的に行われます。 1　1 回目脱気終了。 2　脱気計測時間が 1 回目脱気目安値に表示される。 3　1 回目ガス充填開始。ガス充填時間の計測開始。
6	適切なガス充填状態（目測判断）になれば フットスイッチ（4 回目）を踏む	4 回目のフットスイッチを踏むと 1 ～ 3 の工程が自動的に行われます。 1　1 回目ガス充填終了。 2　ガス充填計測時間が 1 回目ガス目安値に表示される。 3　2 回目脱気開始。脱気時間の計測開始。
7	適切な脱気状態（目測判断）になれば フットスイッチ（5 回目）を踏む	5 回目のフットスイッチを踏むと 1 ～ 3 の工程が自動的に行われます。 1　2 回目脱気終了。 2　脱気計測時間が最終脱気目安値に表示される。 3　2 回目ガス充填開始。ガス充填時間の計測開始。
8	適切なガス充填状態（目測判断）になれば フットスイッチ（6 回目）を踏む	ノズルが後退して、ガス充填が終了します。 ガス充填時間の計測が停止し、最終ガス目安値に計測時間が表示されます。
9	設定ボタンを押す	目安値がメイン画面の作業条件に設定されます。 「設定」ボタンは、脱気時間、ガス充填時間をそれぞれ設定します。「一括設定」ボタンは脱気時間、ガス時間を一括で設定します。 設定しない場合は、設定ボタンを押さずに次の手順に進んでください。
10	フットスイッチ（5 回目）を踏む	圧着レバーが上がり、ノズルが前に出てきます。 再度、目安時間を計測する場合は手順 2 ～ 10 を行ってください。

注：設定ボタンは、手順 8 で表示されます。

9-9　消耗部品

各部品を押すと、部品の情報、品番を確認することができます。



■ 交換日

「交換日」を押すと、消耗部品を交換した日を管理することができます。



■ 連絡先

「連絡先」を押すと、お問い合わせ先を登録することができます。

お問い合わせ先または電話番号を押すと、入力用キーボードが表示されます。入力ができたら「ENT」ボタンを押してください。

お問い合わせ先は英数字と記号を最大 30 文字まで、電話番号は 11 桁まで登録できます。

